

青年部「すいみん」

「ビジネスインデックス」の制作状況

自分の仕事（お店）紹介を冊子にし、自己紹介と@@@の仕事（お店）を頼む時に役立つアイテムとして登録用紙を持って訪問、商工新聞折り込み、申告時の班会、収支内訳書学習会、国保相談会等何度か記入用紙を配布させて頂いている「すいみん・ビジネスインデックス」の進行状況についてお知らせします。

現在は原稿集め中心で活動を進めています。青年部役員で個々の繋がりのある会員に話して登録用紙を渡し記入（参加）を依頼していますがそれでは限りもあるため、青年部役員で集まり、お店、営業所を訪問し登録用紙を渡し記入（参加）を依頼する活動を進めています。

しかし、訪問しても初対面の方では思うように話しできず、留守だったり、営業で忙しそうに話されなれどもありませんでした。そこで各支部の役員に協力を仰ぎ一緒に行動しました。会員を熟知されており、場所も会える時間帯に訪問できます。何よりも、役員に「すいみん」のことを紹介していただけるので青年部員の話しもスムーズにでき会話も弾みます。いま、約40名方が登録されました。50名を超えれば、次段階として原稿内容を冊子のページにしていく作業を専門の業者さんと一緒に進めていこうと考えています。そこをお願いです。もっと多くの方に参加をして頂きたいです。何かを買ったり、頼むなら同じ民商で頑張る仲間として「すいみん」として、同じ仕事をする仲間を知るツールとして「すいみん」にあなたも参加しませんか？登録用紙にお店や仕事場やご自分の写真を載せていただければ紙面で顔繋ぎ、店繋ぎができます。登録用紙が手元にある方はFAX送信か役員に手渡し、事務所に連絡ください。登録用紙がない方は事務所にお伝え頂ければ手配します。よろしくお願いいたします。

吹田市商工振興対策協議会が開催されました。

平成30年度第2回の吹田市商工振興対策協議会が8月23日に開催されました。吹田民商からは吹田商工協同組合の推薦で村口さんが委員として参加。民商事務局2名が傍聴しました。この協議会では吹田市の2月議会で条例が改正された企業立地促進条例が改正された内容や、生産性向上特別措置法に基づく中小企業者支援の内容、吹田市職員による企業訪問の状況、商工振興ビジョン2025について報告されました。企業立地促進条例では、対象業種を製造業、学術・開発研究機関、卸売業の本社と改め、対象地域に江坂地域などの近隣商業地域を追加することが報告されました。また生産性向上特別措置法に基づく中小業者支援については吹田市から認定を受けて新たに取得した先端設備などに課される固定資産税を3年間免除（課税標準額をゼロに）されることや、国からも支援として信用保証協会の普通保険とは別枠で追加保証が受けられ、補助金なども加算措置で優先採択されることなどが報告されました。吹田市が進めている企業訪問については、訪問状況の偏りがあることを把握して改善を進めることや、施策検討に役立てるため企業情報の分析項目を追加すること

などが報告されました。次回は二月一日に開催が予定されています。

民商同士で学びあいより良い活動に

8月26日（日）大商連・北摂ブロック学習交流会が、吹田から9名、全体で68名の参加で開催されました。交流会では、「全商連第53回定期総会」「全商連共済会第25回定期総会」「基本方向」の学習を行いました。共済会方針の学習は桑島副会長が行いました。全体会の代表発言では工藤会長が毎月班会の開催について行いました。昼食のあと4つ分散会に分かれ、自分の（民商）悩み、他の民商から学べることへの質問など、様々な意見交換をしました。



工藤会長の発言要旨

吹田では、中央支部の元会長の村上さんが自分の家で班会を毎月開催しています。村上さんは83才ですが、パソコンを使って手作りで班会案内をしています。班会の内容は、常任理事会で決まった運動のこと、商工新聞の読み合わせなど行いますが、大半はお互いの健康問題や自分たちの近況を話すなど座談会的になるそうです。

私の班でも毎月班会をしてきましたが、会場をお借りしていた会員が出産し、その後開けていないのが現状です。民主運動の原点は「集まって話しあい、相談して助け合って営業と暮らしを守る」ことにあります。会員同士が日常的に声をかけあい、知恵や情報を持ち寄り、商売を語り合って助け合うのが班会です。少人数からでも班会をするように今後も心掛けていきたいと思えます。

交流会に参加して 岡崎副会長

第4分散会では、各民商の「強み」「課題」を中心に意見を交流しました。「強み」では、多くの民商が頭を抱えている中「組織配達集金参加者が年々増えてきている」「事務局員が若くなつた」と報告があり、「課題」では、ほとんどの民商から「役員のなり手がいない」「会員が増えない」「婦人部の取組に誘っても特に若い人が目を向けてくれない」「班会が開かれない」「組織配達集金が崩れてきている」など各民商の共通の問題として出されました。組織配達集金では、入会時にきちんと説明し、新入会員歓迎会などを通じて理解を深めていくことだと話し合われました。摂津民商の拡大運動については質問も飛び交い話が弾みました。どんな相談でも相手の気持ちに立ってとことん対応する姿勢がすごいと感じました。全体を通じてどの民商も悩みは、役員の成り手がいない、組織が崩れている、何よりも拡大が進んでいないことです。分科会終了まじかに「基本方向に示されているように、会員訪問が重要」とぼつんと言われ、本当にそうだと思います。今回のブロック交流会で感じたことは、各民商の取り組みを聞くことで、吹田民商のこれからの運動の参考となったことです。

商工新聞は経営のヒント・ノウハウの知恵がいっぱい 毎週必ず届けます
 会費集金は会員の心をあしめる活動です 毎月10日までには集めましょ